

第27回 がん研究所セミナープログラム

2006(平成18). 2. 8 ~ 9
金沢大学医学部記念館 2階ホール, 金沢大学がん研究所会議室

◆細胞周期制御研究分野

- サマリー 善岡克次
○アミロイド前駆体APPに結合するFe65L2の転写に及ぼす影響 棚橋浩

◆組織分子構築研究分野

- サマリー 向田直史
○Pim-3の肺臓癌での過剰発現の意義の検討 藤井千文

◆分子薬理学研究分野

- サマリー 大島正伸
○組織マクロファージが胃癌発生に及ぼす影響の研究 大島浩子

◆遺伝子・染色体研究分野

- サマリー 平尾敦
○組織幹細胞特異的発現分子を指標とするがん幹細胞同定
マウスモデルの構築 仲一仁

◆細胞分子病態研究分野

- サマリー 山本健一
○c-Ablファミリー分子のクロマチンにおけるRad51の機能制御の意義 清水弘子
○アルキル化剤、活性酸素によるATMの活性化機構の解析 小林昌彦

◆遺伝子診断研究分野

- サマリー 源利成
○新たにがん標的キナーゼGSK3 β の活性・機能解析と
大腸癌制御への応用 源利成

◆分子標的薬剤開発センター

- サマリー 須田貴司
○抗腫瘍性スクレオシドに対する感受性規定因子の同定と応用 遠藤良夫
○ADAMTS-1の卵胞生育過程、損傷治癒過程における役割の解析 久野耕嗣
○Fasリガンド刺激による炎症誘導作用の分子機構 今村龍
○Fas-associated factor1はPYPAF1で誘導されるNF- κ B活性化を抑制する 木下健

◆細胞情報調節研究分野

- サマリー
- B型肝炎ウイルスコア蛋白質のリン酸化とウイルス増殖
- リン酸化 RNAポリメラーゼII-CTD結合・調節因子の機能解析
- 変異導入したU13 RNAの発現と18S rRNAアセチル化への影響

原田文夫
黒木和之
広瀬豊
木戸敬治

◆細胞機能統御研究分野

- サマリー
- がん浸潤における細胞運動とMMP活性発現の協調的制御機構の解析
- がん浸潤におけるMT1-MMP活性制御分子の検索

佐藤博
滝野隆久
宮森久志

◆細胞分化研究分野

- サマリー
- 開放血管を持つホヤ類におけるTie2 homologの発現と血球の発生
- 幹細胞制御に関わる新規DNA複製分子PSF1の機能解析
- 心・血管幹細胞の同定及びその分化制御機構の解明

高倉伸幸
天野重豊
上野将也
山田賢裕

◆遺伝子発現研究分野

- サマリー
- 老化ストレスに応じる信号伝達系の探索

村上清史
林直之

◆腫瘍内科研究分野

- サマリー
- 臍液中*Tissue factor pathway inhibitor 2 (TFPI-2)* のメチル化の検索による
腫瘍診断の有用性
- 腫瘍診断を目指した臍液における*NPTX2*のメチル化異常に関する検討
- 臍腫瘍性病変におけるERCPとMRCPの有用性の比較
- ケモカインMCP-1が誘導する肝癌自殺遺伝子治療の再発予防効果の検討

澤武紀雄
渡邊弘之
大坪公士郎
毛利久繼
土山智也

◆腫瘍外科研究分野

- サマリー
- Tailored dose化学療法による臨床試験 (JFMC-31, randomized phase II) の
中間報告と今後の展望
- 腹腔鏡手術における工学技術の応用
- 胃癌腹膜播種発症におけるケモカインの役割とその制御
－新しい治療コンセプトの確立を目指して－

高橋豊
高橋豊
表和彦
安本和生